

ゆたか小学校 第 3 回コミュニティ・スクール協議会 報告書

1 開催日時 令和 8 年 9 月 1 6 日（水） 1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 0 0

2 場 所 ゆたか小 会議室

3 参 加 者 長嶺吉起（会長）・宜保龍平・譜久村さつき・大田昇
渡辺秋子・村社真知子・玉城洋子
城田聡（校長）・棚原綾乃（教頭）・宮城団志（教務）

4 会議内容

1. 学校からの報告および協議事項

(1) 学校評価について（教頭より）

・現状と課題：学校評価の結果から、児童の「挨拶」に課題があることが共有された。

・今後の具体的な取り組み：

○言葉の復唱：朝の会などを活用し、「ありがとう」「おはようございます」「さようなら」の言葉を全員で復唱する習慣をつくる。

○「さん」付けの推奨：子どもたち同士、また教職員からも日常的に「○○さん」と呼び合うことで、お互いを尊重する意識を育てていく。

(2) 日課表の変更について（校長より）

・目的：日課表を見直し、学校生活全体に「時間のゆとり」を生み出す。

・実施：2 学期より新日課表でのスタートを切る。

2. 熟議「子どもたちの未来と地域を笑顔でつなぐ、新しいアクション」

◎長嶺会長より「地域とともにしっかり熟議を行い、地域連携室の活用を活発にしていきたい」との方針が示され、具体的な 3 つの柱について熱心なアイデア出しが行われた。

1. 多世代交流（おじい・おばあ×子どもたち）プロジェクト

地域のおじいやおばあ世代が学校へ来る機会が少ない現状を受け、気軽に楽しく学校へ足を運べる「システム（仕組み）」づくりを提案・協議した。

◎具体的実施案（12 月 3 日（木）実施予定）

○2 校時：おじいおばあ元気チャージツアー（授業参観）

地域連携室に集合後、グループに分かれて学校を 1 周し、子どもたちの様子や教室の雰囲気をツアー形式で見学する（CS メンバーが添乗員として案内）。

- 3 校時：ユンタク会（地域連携室）
お茶を片手に学校の感想や思い出を語り合う。
- 4 校時：CS 振り返り・意見交換
・ 今後の展開とアイデア
- 昔遊び大会：地域コーディネーターを交えて、児童とおじい・おばあが交流できる大会を企画する。
- 自治会との連携：学校だけでなく地域の自治会を動かし、より多くの参加を呼びかける。
- まつりとの連動：今後の「ゆたかつ子祭り」の中で、おじい・おばあを対象とした「グラウンド・ゴルフ大会」を同時開催する案も出された。
- 【重要ミッション】ボランティア勧誘：現在メンバーが不足している「読み聞かせ（あかばな一）」への勧誘を、このツアーの際に対象の皆様へお声がけ・リクルートする。

2. キャリア教育（夢プロジェクト：学校地域支援本部と連携）

- 子どもたちが地域の人材を知り、自分の未来に希望を持てるキャリア教育を推進する。
- ・ CS メンバーによる語り合い：CS メンバー自身の人生観やこれまでの経験を子どもたちに語る会を設ける。
 - ・ 校区内の職業との連携：ゆたか小校区にある様々な職業の中から、講話ができる地域の方々をリストアップし集める。
 - ・ 登下校の見守りとのつながり：地域で働く「顔の見える人材」を知ること、子どもたちの日々の安全な登下校や地域でのつながりにも発展させていくことを重視する。

3. ゆたかつ子祭りについて

- ・ 日時：令和 9 年 1 月 20 日（日）予定
- ・ 地域店舗の出店推進：キッチンカー等の誘致も良いが、何より「ゆたか小校区の地域で実際にお店を構えている方々」に広く声をかけ、協力を促して出店してもらえるように動く。
- ・ 部活動の出店：学校内の部活動による出店も可能（オッケー）とする。

3. その他・連絡事項

- ・ 視察研修ツアーの実施
 - 日時：10 月 14 日（水） 9:15 ～ 11:30
 - 視察先：大里南小学校（他校の先進的な取り組みを学び、今後の CS 活動に活かす）
-

学校と地域が手を取り合い、子どもたちの豊かな学びと元気な地域づくりに向けて、これからも具体的なアクションを進めていく。皆様のご協力をよろしくお願いしたい。

令和8年9月吉日

コミュニティースクール委員の皆様

豊見城市立ゆたか小学校
校長 城田 聡
コミュニティースクール
会長 長嶺 吉起

「熟議」に向けたご提案

～子どもたちの未来と地域を笑顔でつなぐ、新しいアクションに向けて～

初秋の候、委員の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動ならびに学校運営協議会の活動に多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

先般（8月20日）の取り組みにつきましても、多大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。次回の熟議では、前回の振り返りは手短かにポイントを共有する程度にとどめ、「次はこんな新しいチャレンジができるね！」「こうしたらもっと面白くなる！」といった、前向きでワクワクするアイデアを広げる対話の時間にしたいと考えております。

つきましては、次回熟議のメインテーマとして、以下の2点について皆様と具体的に語り合い、実現に向けた一步を踏み出したいと提案いたします。

【提案の柱・熟議のテーマ】

1. 地域と拓く「キャリア講話」の実施に向けて

子どもたちが社会や仕事に関心を持ち、自分の未来に希望を持てる機会をつくりたいと考えています。（対象児童： ）

対話のポイント：

講師が一人で登壇する形だけでなく、「2人1組」での対談形式やインタビュー形式など、仕事や社会生活のリアルが子どもたちに伝わりやすい工夫を検討したいです。地域の多様な職種・経験をお持ちの方々にお声がけし、肩ひじ張らずに語り合える方法を模索します。

2. 地域連携室を活用した「多世代交流（おじー・おばー×子どもたち）」プロジェクト

近年、運動会の開催形態や学校行事の変化に伴い、おじー・おばーが学校へ足を運ぶ機会が減ってしまっている現状があります。孫が通う学校の様子を知り、学校の

「いま」と「昔」の違い（カルチャーショック）を肌で感じることは、家庭内での世代を超えた会話を生み、豊かな家庭教育にもつながる大切なきっかけになります。

企画アイデア（イメージ）：

- ① おじー・おばー対象の授業参観（普段の孫の学びの様子を見守る）
- ② 地域連携室でのお茶飲み「ユンタク会」（お茶を片手に、学校や地域の思い出、今の感想を語り合う）
- ③ 子どもたちとのふれあい体験（時間を合わせ、昔遊びを教えてもらったり、一緒にものづくりを楽しんだりする）

CS（学校運営協議会）の役割：

学校現場に過度な負担をかけないよう、CS が中心となって見守りや会場準備、ユンタク会の進行・運営フォローを担います。

【会長からのひとこと】

学校と地域が手を取り合うことで、子どもたちの学びはもっと豊かになり、地域の先輩方にとっても学校が「元気をもらえる場所」になるはずです。「どうすれば実現できるか」「どんな工夫があればみんなが楽しめるか」、委員の皆様の自由でポジティブなご意見・アイデアをお聞かせいただけることを楽しみにしております。

次回の熟議で、笑顔あふれる時間をご一緒しましょう。何卒よろしくお願い申し上げます。



